



歴史に学び、建物・人・経営を守る

巨大地震から 東三河地域 を守る

12

12

2017年12月12日(火) 13:00 - 17:00 (12:30 開場)
穂の国とよはし芸術劇場プラット アートスペース

入場
無料

定員
200名

基調講演



武村雅之 Masayuki Takemura
名古屋大学減災連携研究センター教授

歴史に学ぶ防災論：
人生無常の実際に覚醒せよ！

タイムテーブル

- 13:00 学長挨拶
- 13:10 基調講演
- 14:30 休憩
- 14:45 話題提供
- 16:30 ディスカッション
- 17:00 閉会
- 17:30 意見交換会
(希望者のみ、会費 3,000 円)

話題提供



建物を守る魅力ある耐震改修事例
齊藤大樹 Taiki Saito
豊橋技術科学大学 安全安心地域共創リサーチセンター長



命を守るための自助・共助
阪本真由美 Mayumi Sakamoto
兵庫県立大学 減災復興政策研究科准教授



企業経営を守るために何が必要か
野田健太郎 Kentaro Noda
立教大学 観光学部教授 (元日本政策投資銀行)

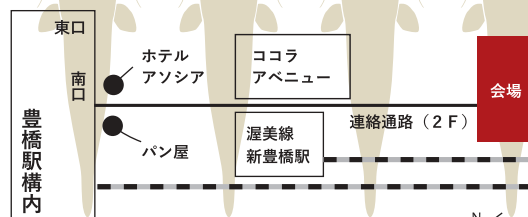
※本シンポジウムは、建築 CPD 認定プログラムに申請しています。

主催 豊橋技術科学大学 安全安心地域共創リサーチセンター

会場 穂の国とよはし芸術劇場プラット アートスペース
愛知県豊橋市西小田原町 123 番地

申込み 裏面の申込用紙に必要事項をご記入の上お申込み下さい

問合せ 0532-81-5157 (担当：穂苅)



巨大地震から 東三河地域を守る

歴史に学び、
建物・人・
経営を守る

東三河地域は、近い将来に発生する南海トラフ巨大地震により、甚大な被害が予想されています。しかし、ここ数十年は、東海地域に大きな地震がないことから、危機感が薄れていることも事実です。

地域の防災力向上には、地震への正しい理解のもとで、建物の耐震化を図り、住民の命を守り、生活や経営を守ることが必要です。

今年のシンポジウムでは、地震被害の歴史に詳しい名古屋大学の武村雅之先生に基調講演をお願いしています。また、建物を守る観点から豊橋技術科学大学の斉藤大樹が、住民の生命を守る観点から兵庫県立大学の阪本真由美先生が、経営を守る観点から立教大学の野田健太郎先生が、それぞれ講演をいたします。本シンポジウムが、自治体・企業・地域の自治組織などにおいて災害時に活躍できる防災の担い手の育成に少しでも寄与することを願います。

申 込 書

この用紙に必要事項をご記入の上、faxか E-mailにてお申込ください。

ふりがな 氏 名			年 齢
			歳
所属・役職			
電話番号			
E-mailアドレス または Fax番号	E-mail	@	
	Fax	—	—
意見交換会 (会費3,000円)	参加 ・ 不参加 (どちらかを○で囲んで下さい)		

※ご記入いただいた個人情報は、本事業の目的以外で使用することはありません。

申込先

豊橋技術科学大学 安全安心地域共創リサーチセンター(担当:穂苅)

Fax 0532-81-5195

E-mail carm@office.tut.ac.jp